

市町村管理構想・地域管理構想の概要

国土交通省国土政策局総合計画課
国土管理企画室

(国土審議会計画推進部会 国土管理専門委員会での議論踏まえ、R3.6 とりまとめ)

背景・基本的な考え方

- 近年、人口減少・高齢化等の進行によって土地需要が低下し、低・未利用地や空き家の増加、農地の荒廃など、管理が行き届かなくなる土地の発生等による課題が発生
- 人口減少下では、全ての土地についてこれまでと同様に労力や費用を投下し管理することは困難
- 優先的に維持したい土地を明確化、管理方法の転換等を進めることが重要
- 地域住民の発意と合意形成を基礎とした地域主体の取組と多様な主体の参加・協働による国土管理の推進が必要

「国土の管理構想」の概要

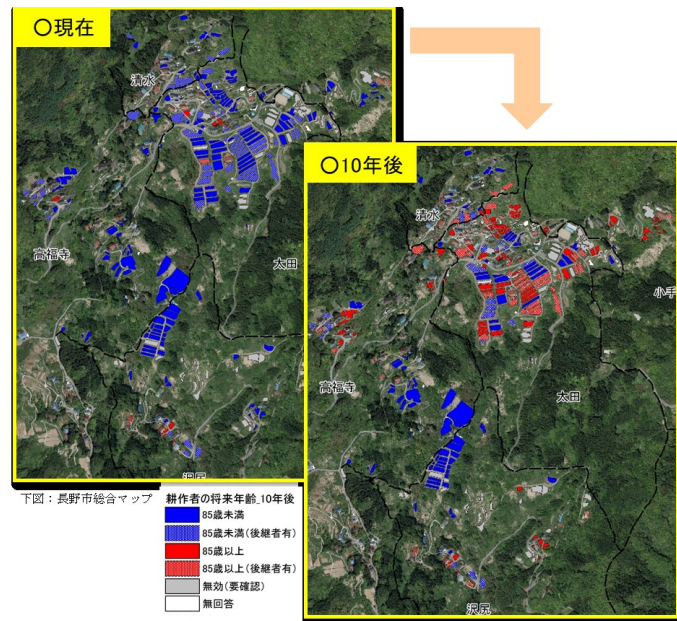
- 「国土の管理構想」は、人口減少下の適切な国土管理の在り方を示したもの。分野横断的・統合的に国土全体の管理の在り方を提示
- 国だけでなく、都道府県・市町村・地域における国土管理の指針
- 都道府県・市町村・地域（集落等）の各レベルで、人口や土地の管理状況等についての現状把握・将来予測を行い、目指すべき将来像と土地の管理の在り方を示す管理構想を策定。市町村や地域では、これを地図上に見える化（管理構想図）
- 各レベルにおける策定を推奨し、特に中山間地域などを中心に、市町村や地域における取組が進むことを期待

今後の取組

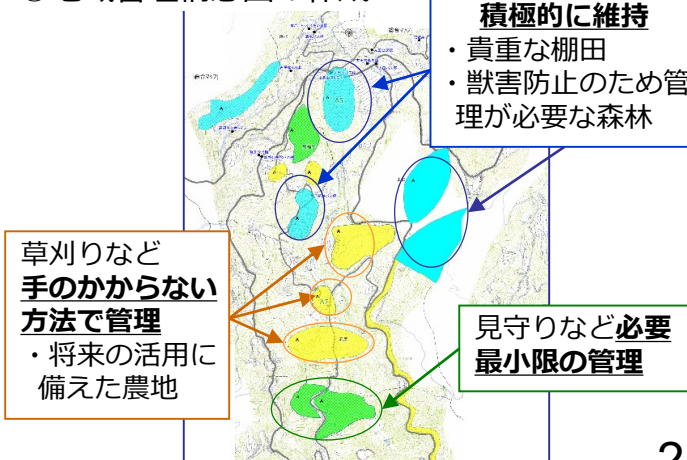
- 市町村や地域における取組の推進に向け、モデル事例の形成や人材育成などにより取組の後押しを図る

長野市中条地区地域管理構想の取組事例

○現況図及び将来予想図の作成



○地域管理構想図の作成



※管理構想は任意計画です

国土の管理構想

<R3.6とりまとめ>

策定主体：国

- 長期的視野・広域的視点からの国土全体の管理の在り方を提示
- 都道府県、市町村、地域の各レベルにおける管理構想の策定方法等を示す

都道府県管理構想

策定主体：都道府県

- 流域等の広域的視点から都道府県土全体として目指す管理の在り方を示す
- 現状把握・将来予測により、管理すべきエリア、市町村・地域で対応すべき課題について判断するための視点、広域的な市町村間の調整について整理

市町村管理構想

策定主体：市町村

- 現状把握・将来予測により、市町村土全体として目指す管理の在り方、管理すべきエリアと対応すべき課題、必要な措置等を示す
- 管理すべきエリア等を市町村管理構想図として地図化

地域管理構想

策定主体：地域（集落等）

- 住民自ら地域の将来像を描き、土地の管理の在り方を地域管理構想図として地図化
- 管理主体や管理手法を明確にした行動計画を示す

市町村：策定の働きかけ、議論サポート、地図・情報の提供等

- 都道府県・市町村・地域の各レベルで、管理構想の策定を推奨

（特に人口減少が見込まれる中山間地域を含むエリアなど）

市町村管理構想の概要

- [策定主体] 市町村
- [対象範囲] 行政区域全域を対象
(特に市街化区域及び用途地域以外)
- [計画期間] 概ね5~10年(20~30年の将来を見据える)
- [策定方法] 市町村の各部局との意見交換・協議、
地域住民等への聞き取りを踏まえて検討・策定

市町村管理構想の記載内容：

①市町村土の管理に関する基本構想

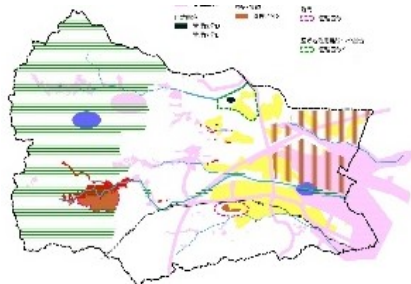
- ・現状把握と将来予測
- ・市町村土の管理の在り方
- ・対応すべき課題と管理すべきエリア
(地域管理構想を優先的に策定すべきエリアを含む)

②必要な措置の概要

- ・課題への対応の方向性・取組
- ・地域管理構想策定に向けた支援
- ・地域住民主体による管理の取組が難しい場合の市町村の取組
- ・市町村管理構想のモニタリング・見直し等

③市町村管理構想図 (①に掲げた内容の図示)

<市町村管理構想図のイメージ>



地域管理構想の概要

- [策定主体] 地域住民(必要に応じて市町村が支援)
- [対象範囲] 集落や旧小学校区単位など
(複数集落も可)
- [計画期間] 概ね5年(10年程度の将来を見据える)
- [策定方法] 地域住民がワークショップ等の意見交換を通じて策定

地域管理構想の記載内容：

①地域の現状と将来予測

(地域資源・土地利用課題の現況・将来予想図)

②地域全体の土地利用の方向性

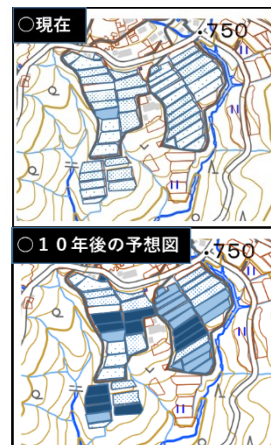
③地域管理構想図

④行動計画表

⑤地域としてのルール

⑥取組の進捗管理体制

<現状と将来予測>
例：現状耕作者の年齢



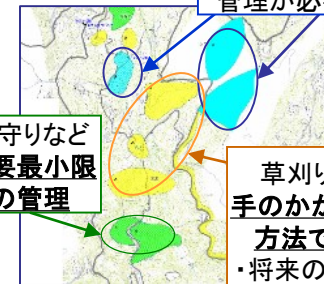
<地域管理構想図のイメージ>

3段階の管理の
方向に仕分け

積極的に維持
・貴重な棚田
・獣害防止のため
管理が必要な森林

見守りなど
必要最小限
の管理

草刈りなど
手のかからない
方法で管理
・将来の活用に
備えた農地



地域管理構想の策定プロセスと取組事例

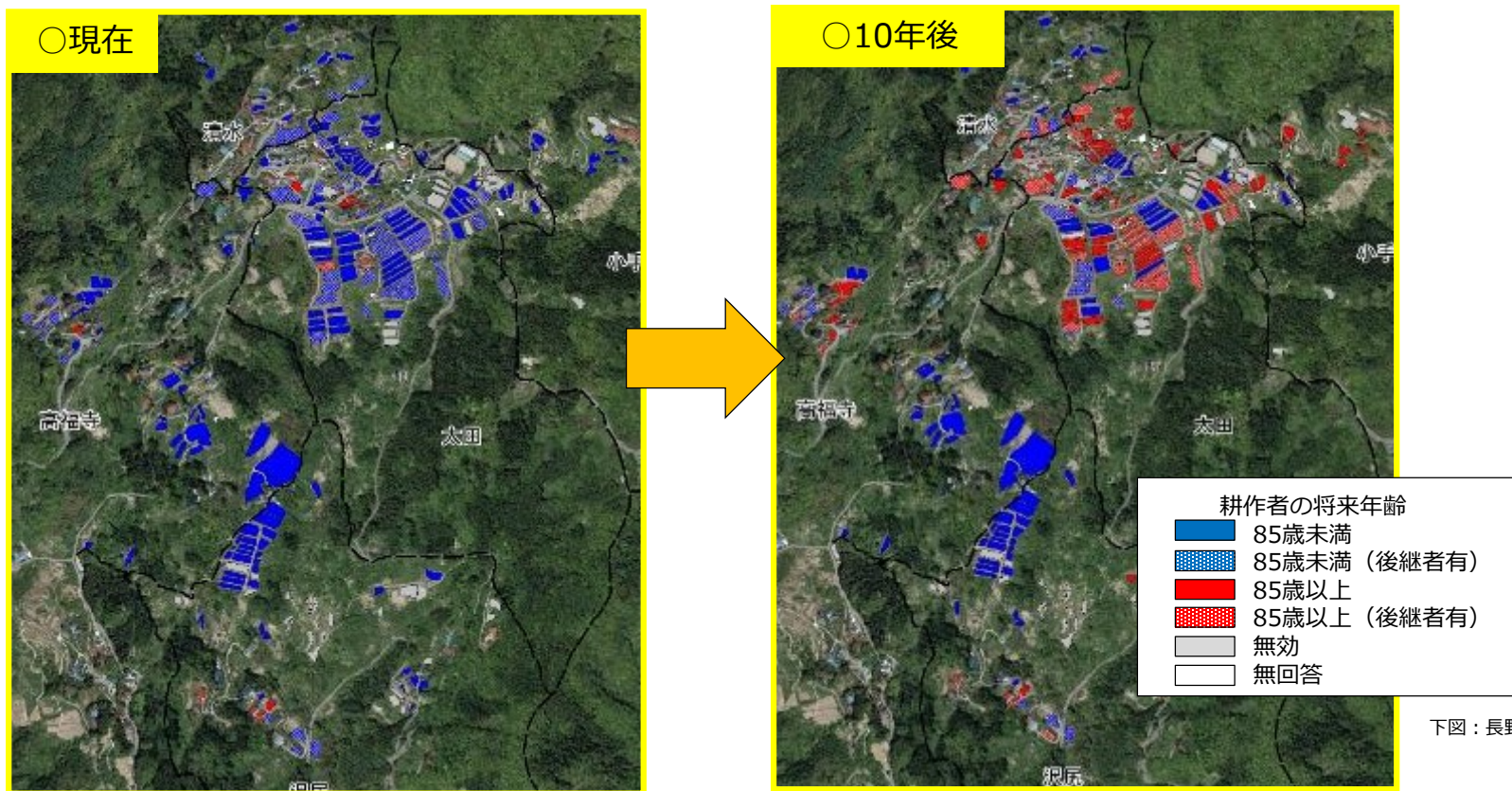
地域住民が話し合うワークショップを開催しながら以下(1)～(3)の取組を行う。

(1) 土地や地域の現状及び将来の状況の把握・共有

- ✓ 地域の資源、魅力、歴史、文化、自然環境等について共有する
現在の農地・宅地・森林などの利用や管理の状況を地図化し、現状を共有する（現況図の作成）
- ✓ 地域の歴史や過去の土地の管理状況、過去の地域づくりの取組の振り返り
- ✓ 将来予想図をもとにした、10年後の見通しの把握、土地利用に限らない地域の将来像の設定や課題の整理

長野市中条地区地域管理構想の取組事例

○現況図及び将来予想図の作成 〈現在と10年後の農地の耕作者年齢及び後継者の有無〉

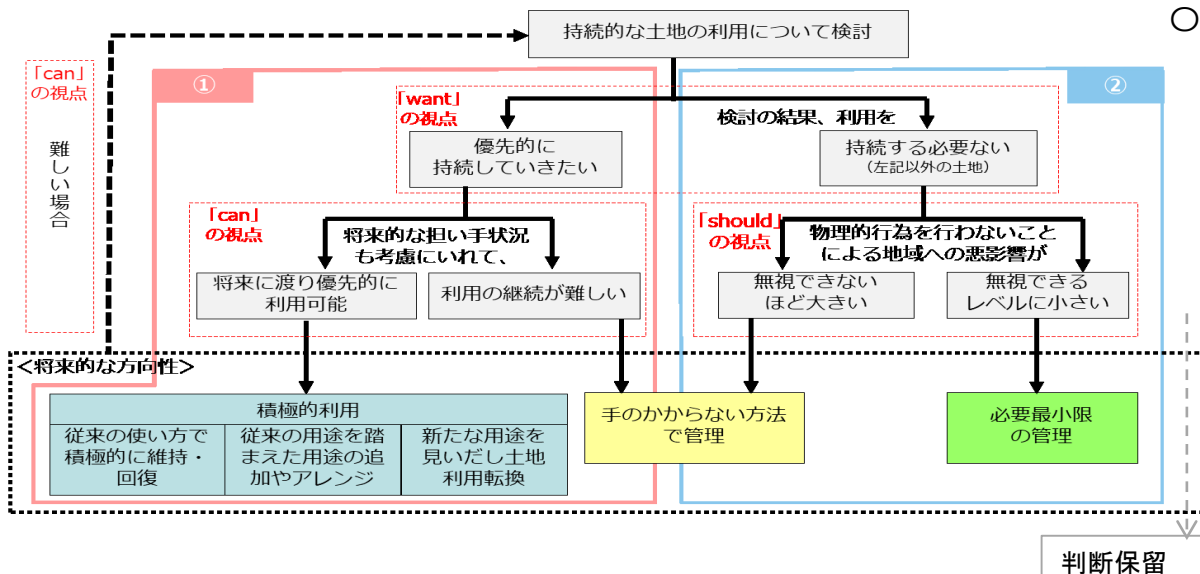


地域管理構想の策定プロセスと取組事例

(2) 地域管理構想図の策定

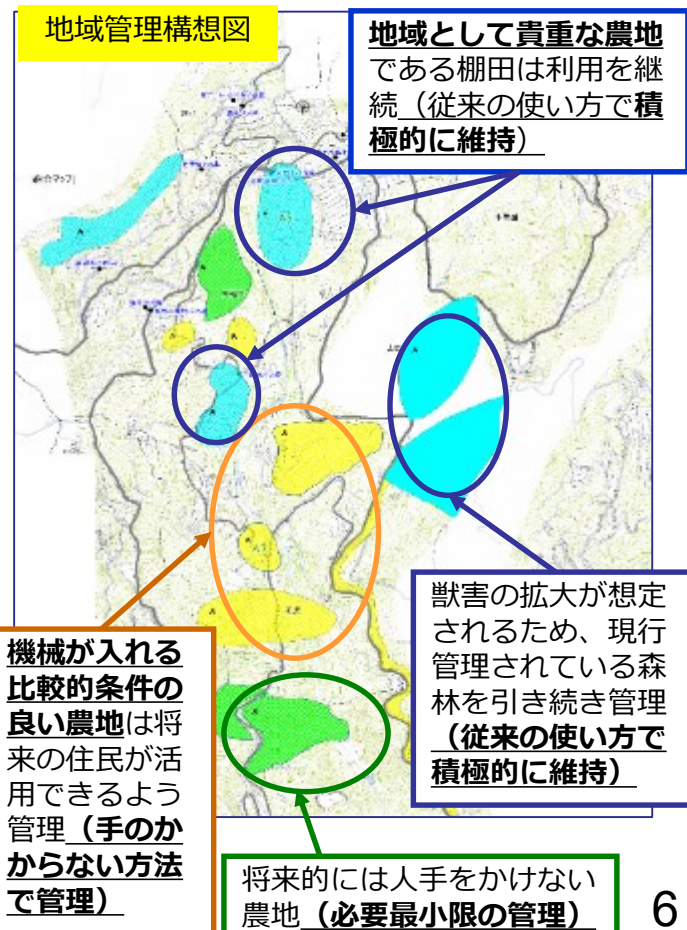
- ✓ フロー図参考に地域で選択した土地の使い方を具体的に地図上で見える化
(一筆ごとではなくまとまったエリアとして検討。判断保留として色分けできない土地もあり得る)

○フロー図



長野市中条地区地域管理構想の取組事例

○地域管理構想図の作成



地域管理構想の策定プロセスと取組事例

(3) 地域における行動計画と地域のルール策定

- ✓ 具体的な利用・管理の手法や実施主体等について行動計画として整理
- ✓ 基本的に共有しておくべき、持続可能な土地利用や地域づくりを考えるにあたってのルールを設定

長野市中条地区地域管理構想の取組事例

<栃倉の棚田での具体的な行動計画>

取組目標：10年後も栃倉の棚田（景観）の維持・継承できる体制・しくみの構築

項目	着手時期（2020年度～2030年度）				地域内住民		地域外住民		組織・団体			行政		
	着手済	来年度から 2021年度～	5年以内 ～2025年度	5年目以降 2026年度～	所有者	その他	関係者	その他	事業者	自治協	その他	中条支所	長野市	長野県
ア 所有者の将来意向の把握 ※1	○													
イ 鳥獣被害対策 ※2		○			○		○						○	
ウ 農業機械の共同購入 ※3		○			○		○						○	
エ 地域の心の拠り所としての認識の共有・伝承 ※4		○			○	○	○	○	○	○		○	○	
オ 地域住民や移住希望者の耕作希望の把握			○			○	○							
カ 所有者の以外の耕作希望者の募集				○		○	○							
キ 集落営農組織化 ※5				○	○	○	○	○	○	○				
ク 栽培作物・手法の統一化				○	○	○	○	○	○	○				
ケ 販路の確保				○	○	○	○	○	○	○				○

(効果)
 ・棚田や周辺の農家による組織が立ち上がり、中山間地域等直接支払制度を再開
 ・個人では考えているような、当たり前と思われることも含め、地域住民や地域に関わる人と共有して、互いの理解が深まった

※1 中山間地域等直接支払制度（R2～） ※2 外周電気柵を共同作業として実施 ※3 乾燥機の購入 ※4 次世代への伝承 ※5 20年先を見据えて

<地域で共有しておきたい5つのこと>

- ①大切な景観を守るために、景観を壊してしまう土地利用は慎重に！（棚田周辺への太陽光パネル設置など）
- ②移住者が後から戸惑うことがないように、参加してもらいたい共同作業や役回り、この「共有しておきたい5つのこと」など、地域内で当たり前のことも含めて、移住者が移り住む前に必ず伝達を！（側溝掃除や草刈りなどの共同作業の時期や頻度、消防団や自治会の活動への協力（役回り）、区費の支払いなど）
- ③森林や農地の維持管理が困難になってきたら、地域の人に相談を！
- ④この地を離れるときは、引っ越す前に、引っ越すことや土地や建物のその後について、地域の人にもひと言！（土地や建物の所有や管理をどうしたいのかなどの意向、土地や建物の処分をどうしたらよいかなどの相談など）
- ⑤年に一回は地域のことをみんなで話し合う機会を！

ステップ①：市町村土に関する基礎情報からの現状把握及び将来予測

- ✓ 集落維持可能性に係る情報 人口・高齢化率 等
- ✓ 土地の管理状況及び課題認識に係る情報 荒廃農地の状況・森林管理状況・空家情報 等
- ✓ 土地の維持すべき機能・資源に係る情報 文化・景観・自然・観光 等
- ✓ 管理水準の低下によりリスクが高まる可能性のあるエリアに係る情報 鳥獣被害・災害リスク 等

ステップ②-1：現状把握及び将来予測を受けた、対応すべき課題と管理すべきエリアの整理

整理する内容例

- 集落の状況
- 土地の管理状況
- 将来像
- 対応すべき課題、管理の在り方
- 管理の必要性
 - ・維持保全すべき市町村の資源
 - ・土地等の活用により生み出される価値
- ・目指す将来像／現状のギャップ
- 土地や資源の管理の課題／課題に対する対応状況／必要な取組

ステップ②-2：市町村内の意見交換・協議による整理



ステップ②-3：地域への聞き取りによる整理

ステップ②-4：広域的な視点による整理

ステップ③：市町村管理構想及び市町村管理構想図の検討

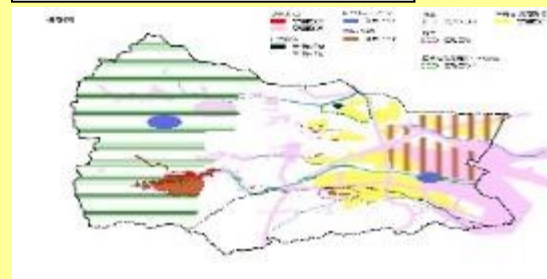
市町村管理構想の記載内容

- ①市町村土に関する基本構想
 - ・現状把握及び将来予測
 - ・市町村土の管理のあり方
 - ・対応すべき課題と管理すべきエリア
- ②必要な措置の概要
 - ・課題への対応の方向性・必要な取組
 - ・地域管理構想策定に向けた支援 等



図示

③市町村管理構想図

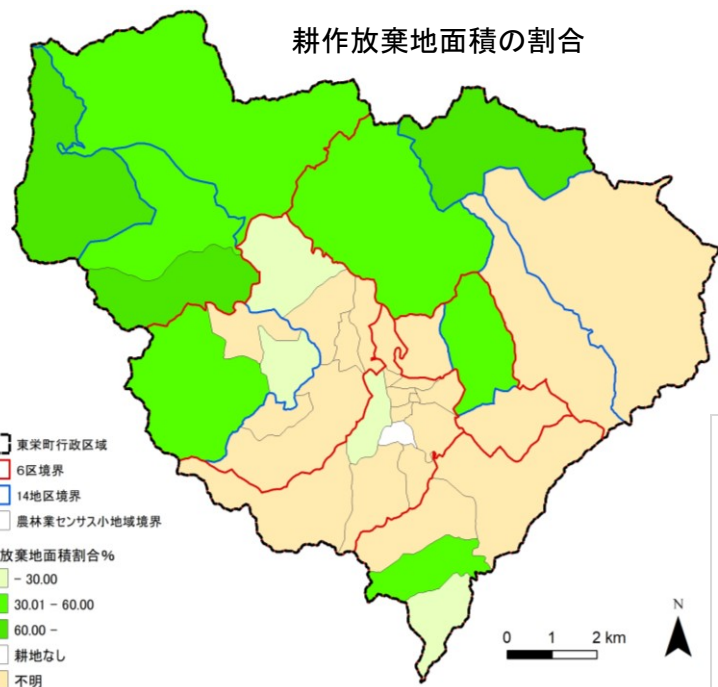


・東栄町の保有データ及び国勢調査等のデータを収集し、町全体及び14地区ごとの情報を整理

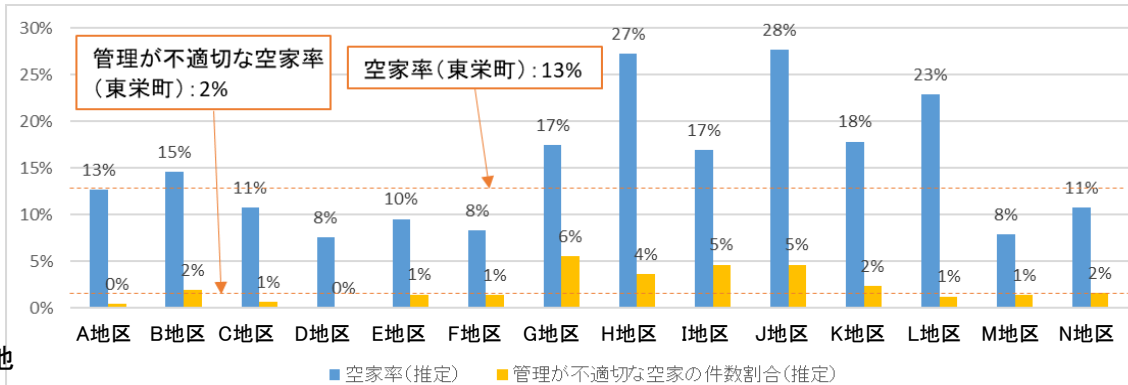
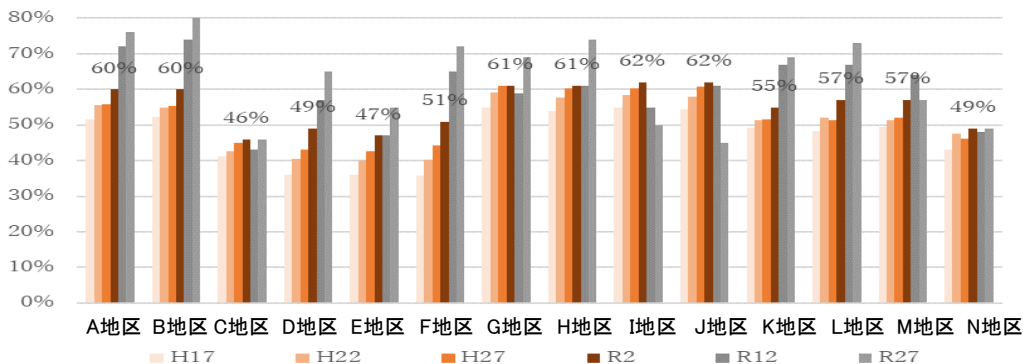
市町村土に関する基礎情報からの現状把握及び将来予測

- ✓ 集落維持可能性に係る情報 人口・高齢化率 等
- ✓ 土地の管理状況及び課題認識に係る情報 荒廃農地の状況・森林管理状況・空家情報 等
- ✓ 土地の維持すべき機能・資源に係る情報 文化・景観・自然・観光 等
- ✓ 管理水準の低下によりリスクが高まる可能性のあるエリアに係る情報 鳥獣被害・災害リスク 等

耕作放棄地面積の割合



14地区ごとの高齢化率の推移



出典:愛知県東栄町でのモデル事業における基礎調査資料((地域の農業を見て・知って・活かすdb(農林水産省))

出典:空家率/空家:空家台帳(愛知県東栄町/H30)

- ・東栄町役場職員による検討会（職員研修）を開催し、基礎情報から得られた現状及び将来予測の確認・情報の補足、町の将来の姿、対応すべき課題・エリア・必要な取組について意見交換・検討を行った。
- ・これまでの検討会、関連計画の整理、各課ヒアリング等を踏まえ東栄町管理構想素案を作成。

市町村内の意見交換・協議による整理：ステップ㉔-2

検討会（職員研修）の実施（ワークショップ形式）

○日時：令和3年3月23日、令和3年11月15日、令和4年3月9日

○意見交換内容

第1回目：東栄町の基礎情報の共有、現状・将来の課題の整理、課題に対する必要な取組・連携について検討 等

第2回目：第1回検討会や住民アンケートを踏まえた町の課題の再確認、将来目指すべき町の姿の実現にあたって対応すべき課題とエリアの整理、必要な取組の検討

第3回目：管理構想の作成経過報告、管理の必要性や管理について参加者ができることに関する意見交換 等

○参加者：振興課、地域支援課、経済課、事業課、教育課、総務課、税務会計課から計30～40名程度（役職は主事等～課長級まで参加）

地域への聞き取りによる整理：

ステップ㉔-3

地域の実態把握のため、住民（区長、民生委員等）に対するアンケートを実施

実施期間：令和3年3月25日～4月5日



市町村管理構想及び市町村管理構想図の検討：ステップ㉔

関連計画整理

目指すべき将来の姿、管理のあり方、措置の概要に関連する既存計画の内容を収集・整理。現在の政策の方向性の確認と骨子案への反映

- ①東栄町総合計画、②東栄町過疎地域持続的発展計画、③東栄町空家等対策計画、④東栄町国土強靱化計画、⑤東栄町森づくり基本計画 等

庁内関係各課ヒアリングの実施 令和4年1月末

東栄町管理構想の骨子案に対して、現状、課題、目指す将来の姿、管理のあり方、必要な措置の記載事項に対する意見について、関係各課にヒアリングを実施

基礎情報の収集・整理、計3回の職員研修の意見・関連計画の整理

東栄町管理構想の骨子案を作成

各課ヒアリング、担当課による構成や記載内容検討

東栄町管理構想素案を作成

市町村管理構想・地域管理構想づくりを支援します

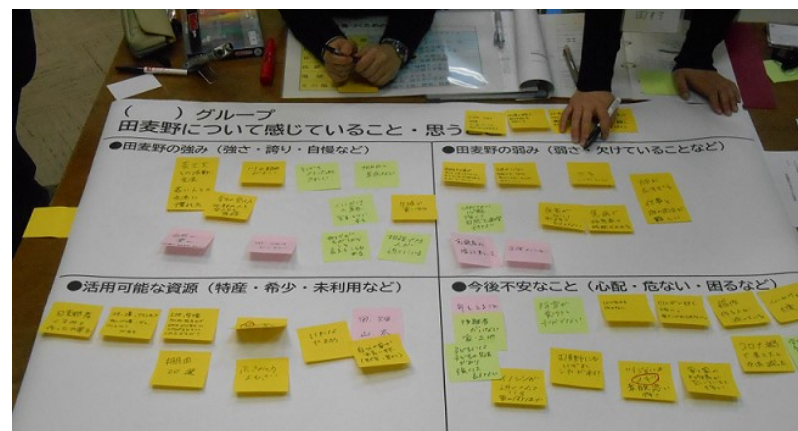
- モデルとなる事例形成のため、市町村管理構想や地域管理構想づくりを国交省の事業※としてお手伝いします

※事業名：市町村管理構想・地域管理構想策定推進対策

- ✓ 話し合いの場づくり
- ✓ 企画・運営
- ✓ 情報の整理
- ✓ 資料や地図の作成
- ✓ 外部アドバイザー(有識者)の招へい・助言

地域の場合は、市町村にサポートいただき、一緒に考える体制づくりをお願いします

地域の場合も応募主体者は市町村です



○国土の管理構想に関する資料、情報の掲載先

■ポータルサイトによる情報提供

○「国土の管理構想」本文のほか、策定の手引き、取組事例、モデル事業の公募などの情報を掲載
https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000130.html

■国土の管理構想（令和3年6月）と 国土管理専門委員会 最終とりまとめ

○「国土の管理構想」の本文や概要などを掲載
https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/kokudo03_sg_000246.html

■市町村管理構想・地域管理構想の策定の手引き

○具体的な事例を交えながら策定プロセスをわかりやすく
※内容は絞っているため、詳細を知りたい場合は「国土の管理構想」本文へ
https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000137.html